

令和4年度決算に係る

定期監査

資料

決算審査

令和5年7月

地域づくり推進部

中山間・地域交通局中山間地域政策課

目 次

1	前年度指摘事項等に対する措置等	1 頁
	(1) 勧告事項	
	(2) 指摘事項	
	(3) 監査意見	
	(4) 決算審査意見	
2	前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項に対する処理状況	2 頁
3	職員の定員、現員調べ	2 頁
4	役付職員の調べ	3 頁
5	主な事業に関する調べ	3 頁
6	決算資料	8 頁
7	事業別実施状況調べ	9 頁
8	予備費の充用調べ	11 頁
9	現金の取扱状況	11 頁
	(1) 現金取扱状況	
	(2) つり銭の状況	
10	財産に関する調べ	11 頁
	(1) 公有財産	
	(2) 金券類の保有状況	
	(3) 基金	
	(4) 債権	
11	財産の貸付け及び使用許可調べ	11 頁
	(1) 土地及び建物	
	(2) 物品（1品の取得価格が100万円以上のもの及び寄附受納時の評価額が100万円以上のもの）	
12	借受不動産明細調べ	11 頁
13	職員駐車場の管理状況調べ	11 頁
	(1) 管理状況	
	(2) 減免の考え方	
	(3) 使用料の見直し	
14	寄附物件の受納状況調べ	11 頁
15	備品の処分状況調べ	11 頁
16	貸付金等状況調べ	11 頁
	(1) 総括表	
	(2) 償還状況	
○	意見、要望等	11 頁

1 前年度指摘事項等に対する措置等

(1) 勧告事項

該当なし

(2) 指摘事項

該当なし

(3) 監査意見

監 査 意 見	処 理 状 況 等
<p>空き家対策について (地域づくり推進部中山間・地域交通局中山間地域政策課)</p> <p>空き家問題は既に全国的に大きな課題であるが、来年にピークアウトを迎えるとされる一般世帯数が今後減少していくことにより、空き家問題の深刻化がより進展していくことが予想される。</p> <p>また、空き家率の上昇が自治体の財政にも悪影響を及ぼし、過去に生じた自治体の財政破綻について高い空き家率との関連性の指摘もある。</p> <p>空き家対策は通常、既存住宅の活用、処分及び新たな空き家発生防止の方向で行うことになると考えられ、県としてもこれらに対応した取組が行われているものの、大きな進展はできていないものと見受けられる。</p> <p>については、不動産業界や福祉分野とのさらに踏み込んだ連携や、空き家除却を支援する取組の継続、新たな空き家発生抑制に向け県民に考えてもらうための仕掛けづくりなど、改めて危機感を各関連機関と共有し、広く意見を求め、空き家問題を好転させるための有効な手段を定期的に検討し、実行されたい。</p>	<p>中古住宅流通の活性化を阻害する要因として、「物置として活用している」「仏壇があり、盆暮れには家族が集まる」等、所有者側は空き家と考えていない場合や、建物が登記されておらず、代を遡ることによる相続関係人の複雑化で所有者確定が進まない等、所有者側の様々な事情により実際に中古住宅として供出される物件が少ないことがあり、空き家対策における大きな課題と認識している。また、住宅セーフティーネットの施策との連携が、これまで十分に行えていなかった。</p> <p>このため、次のとおり措置を講じた。</p> <p>(1) 令和4年10月24日に主要な不動産業界団体である県宅地建物取引業協会と県及び4市による懇談会を開催し、課題共有や解決方法についての意見交換を行った。今後、課題に対し継続して検討を進める場を持つこととしている。</p> <p>(2) 令和4年11月17日に住宅セーフティーネット施策との連携を図るため、中山間振興統括本部会議を開催し、関係部局と情報共有を図るとともに、対応策の検討を行った。</p> <p>(3) 地域の安全・安心な暮らしを確保するため、市町村が行う代執行による除却の支援拡充や、通常の除却より高額となる場合の補助対象経費の増額等、必要な制度拡充を図りながら、引き続き老朽危険空き家の増加抑制を進めていく。</p> <p>(4) 空き家利活用の機運醸成を図るため、不動産業界や建築業界に協力いただき、令和4年度から新たに「空き家利活用コンテスト」を開催した。優秀事例等を広く県民に周知し、空き家利活用の啓発を図っていく。</p> <p>(5) 令和4年度に、新たな空き家発生の抑制を図るため、趣旨に賛同して積極的に取り組む市町と連携し、空き家化した後の処置について所有者に事前に検討しておくこと等を促す「アウトリーチ手法」の研究等を行っており、今後も継続して取組を進めていく。</p>

(4) 決算審査意見

該当なし

2 前年度県議会決算審査特別委員会の指摘事項（口頭指摘を含む。）に対する処理状況

指 摘 事 項	措 置 て ん 末
<p>8 がんばる地域支援事業について</p> <p>令和3年5月の鳥取県山間集落实態調査では、過疎化・高齢化の進展が著しい山間地域に居住する世帯の86.4%が、今の集落に住み続けたいと定住の意向を示されています。</p> <p>一方、県では住民が将来にわたり安心して暮らせるよう、地域で自主的・主体的に課題解決に取り組む活動などに対して様々な支援制度を設けているものの、本事業における令和3年度当初予算に対する執行率は3割程度にとどまるものでありました。</p> <p>中でも、小さな拠点づくりの次世代リーダーや小規模高齢化集落等への若者定住・集落活性化、地域における生業の人材受入策など、地域の担い手を確保し次世代に引き継ぐための取組や環境整備に係る事業については活用実績がありませんでした。</p> <p>特に、中山間地域においては農業で生計を立てる高齢者が中心であり、水田など農地の多面的機能を鑑みれば、担い手の不在によって近い将来、耕作放棄地など農地の荒廃と、自然災害や鳥獣被害の蚕食的拡大が危惧される場所があります。</p> <p>については、県において各地区に設置する中山間地域等サポートチームを核として、農林水産部や市町村と連携して、農業分野からのアプローチも加味しながら地域の実情を把握し、地域課題の解決に取り組む人材の育成・確保、地域運営組織の形成や活動を支援するなど、地域に寄り添った中山間地域振興策を講じることで、将来にわたって安心して暮らせる地域づくりを実現するよう、本事業の活用実績を上げるための工夫・改善を図るべきであります。</p>	<p>高齢化・人口減少が進む中でも安心して暮らせる地域づくりを目指し、補助制度を更に活用していただくとともに、地域住民による新たな取組の掘り起こしや取組の拡大に向けて、これまで以上に、市町その他の関係機関と連携しながら、きめ細かなサポートを行うため、令和4年5月に新たに、東部・中部・西部・日野の地区ごとに、関係機関による「中山間地域等サポートチーム」を設置したところです。</p> <p>今後、「中山間地域等サポートチーム」が中心となり、市町等と連携しながら、地域の課題整理や先進事例の紹介、話し合いの円滑化等の支援を通じて、補助制度を活用した地域づくりを行う地域や人材の掘り起こしを進めます。</p> <p>また、移動支援をはじめとする住民共助の取組への支援を継続するとともに、各地域で動き始めた機運や取組を実践段階まで発展させる上で特に重要な役割を果たす「ファシリテーター」を身近に確保するため、その人材育成を進め、住民主体による地域づくりの支援体制を更に充実させます。</p> <p>さらに、既に形成されている「小さな拠点」を対象としてヒアリング調査を行い、拠点としての持続性の確保や機能拡充などに向けての課題や要望を把握し、中山間地域等が抱える課題に部局横断的に対応するため設置した中山間振興統括本部を通じて関係部局と連携を図るなど、地域に寄り添った施策を講じていきます。</p>

3 職員の定員、現員調べ

種別 区分	事務職員		技術職員		現業職員		合計		備 考
	5.4.1 現 在	4.4.1 現 在	5.4.1 現 在	4.4.1 現 在	5.4.1 現 在	4.4.1 現 在	5.4.1 現 在	4.4.1 現 在	
定 員	7	7	2	2	0	0	9	9	
現 員	(0) 7	(0) 8	(0) 1	(0) 1	(0) 0	(0) 0	(0) 8	(0) 9	
過不足(Δ)	Δ1	1	Δ1	Δ1	0	0	Δ1	0	地域づくり推進部長が局長を兼務
臨 時 的 任 用 職 員	0	0	0	0	0	0	0	0	
会 計 年 度 任 用 職 員	1	1	0	0	0	0	1	1	

4 役付職員の調べ

(令和5年7月1日現在)

職名	氏名	在職期間		備考
中山間・地域交通局長	(兼) 盛田 聖一	1年	3月	地域づくり推進部長
課長	齋藤 正樹	4	0	
課長補佐	丸山 幹	1	3	
課長補佐	中尾 淳一	2	3	
課長補佐	尾崎 恵輝	2	3	(通算4年)

5 主な事業に関する調べ

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
がんばる地域支援事業	38,669				38,669
将来ビジョン	2つなげる 力をつなげ、結集して、持続可能で魅力あふれる地域を創る				
令和新時代創生戦略	大項目 II 人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む 中項目 (3) 支え愛 小項目 ①絆を活かした中山間地域・まちなか振興 11 住み続けられるまちづくりを				
政策項目	I 安心新時代⑥地域包括ケアや買物支援など高齢者の暮らしやすいふるさとづくり V ふるさと新時代①市町村・企業・NPO・地域等と連携し小さな拠点・ジビエ・農泊など地方創生を展開				

1 事業の目的、概要

住民が将来にわたり地域で安心して暮らせるよう、暮らしを守る仕組み（小さな拠点）づくりを進める広域的な地域運営組織等を支援するとともに、地域の課題解決の取組や地域の担い手の確保・育成につながる取組、暮らしを守る仕組みづくりへのステップアップにつながるような地域主体での取組を支援する。

2 事業の内容、実施の状況

(1) 暮らしを守る仕組み（小さな拠点）づくりの促進

将来にわたって安心して暮らせるよう、複数の集落で構成される地域において、日常生活に必要な機能・サービスを維持するとともに、多様な主体と連携した地域住民の自主的・主体的な取組により、暮らしを支えるための仕組み（小さな拠点）づくりを促進する。

○暮らしを守る仕組み（小さな拠点）づくり促進事業費補助金 2,363千円

区分	補助対象経費	補助金額
取組促進	地域課題解決を実践する広域的な地域運営組織の設置・運営、暮らしを守る仕組み（小さな拠点）づくりに係る計画策定や試行・実施に必要な経費 【事業実績(3件)】 鳥取市2件 1,389千円、智頭町1件 660千円	2,049千円
担い手育成	活動拠点施設を活用した取組で、暮らしを守る仕組み（小さな拠点）づくりの活動に次世代リーダーとして従事する担い手に係る経費 【事業実績(1件)】 鳥取市1件 314千円	314千円
合計		2,363千円

(2) 地域でがんばる取組を支援

中山間地域やまちなかにおいて、将来に向けた取組や日常生活サービスの確保等の取組を支援する。

ア みんなで取り組む将来に向けた活力促進事業費補助金 17,314千円

地域課題解決に向けた取組、地域の担い手の確保・育成につながる取組、暮らしを守る仕組み（小さな拠点等）づくりへのステップアップにつながる取組を支援する。

区分	補助対象経費	補助金額
スタート支援	住民の生活支援や課題解決に向けた初期活動への助成(補助率10/10) 【事業実績(6件)】 琴浦町1件 100千円、北栄町1件 33千円、日野町4件 312千円	445千円
将来に向けた取組支援	住民主体の地域づくりへのステップアップにつながる取組への助成 (補助率 ハード1/3、ソフト1/2) 【事業実績(5件)】 鳥取市3件 2,607千円、倉吉市1件 3,000千円、大山町1件 576千円	6,183千円
地域遊休施設等活用支援	遊休施設を活用しソフト・ハードの両面から地域活性化を図る取組への助成(補助率1/2) 【事業実績(1件)】 米子市1件 10,000千円	10,000千円
安全・安心活動支援	災害・鳥獣害の被害を防ぐ事前の取組への助成(補助率1/3) 【事業実績(2件)】 岩美町2件 686千円	686千円
継業支援	地域のなりわいを引き継ぐ人材受入への助成(補助率 市町負担の1/2) 【事業実績なし】	0千円
合 計		17,314千円

イ 若者定住等による集落活性化総合対策事業費補助金 0千円

小規模高齢化集落等の将来を担う新たな人材となる移住者を確保するとともに、地域が一体となって取り組む集落再生、地域活性化に向けた取組を支援する。

助成内容	補助金額
小規模高齢化集落等(※)が一体となって取り組む、移住者の受入れや地域活性化の取組を最大3年間支援(補助率 市町負担額の2/3、移住者生活支援、住宅取得等支援、地域活性化活動支援等) ※小規模高齢化集落等 高齢化率が50%以上かつ世帯数が20戸未満の集落(小規模高齢化集落)、高齢化率が40%以上かつ世帯数が30戸未満の集落(小規模高齢化集落に準じる集落)をいう。ただし、高齢化率が40%未満であっても、世帯数が極端に少ない等で将来的に集落の維持が危ぶまれると市町が認める集落を含む。 【事業実績なし】	0千円

ウ 中山間地域買物支援事業費補助金 18,308千円

店舗等が不足している中山間地域において、移動販売、空き店舗等を活用した小売りなど、生活に必要な食料・日用品を供給する取組や移動販売時に行う高齢者等の見守り活動に対し助成する。

区分	補助対象経費	補助金額
移動販売車等導入支援	移動販売車の導入経費を支援(1/2)(更新の場合1/3) 【事業実績(2件)】 南部町1件 2,129千円、日野町1件 3,531千円	5,660千円
移動販売車運営費助成	移動販売車の運営費(燃料代、車検費等)を支援(1/2) 【事業実績(3件)】 鳥取市1件 171千円、湯梨浜町1件 69千円 三朝町1件 349千円	589千円
買い物福祉サービス支援事業	移動販売事業者へ高齢者等の見守りを委託・補助する市町村に対して支援(1/2) 【事業実績(7件)】 鳥取市3件 3,603千円、智頭町1件 131千円、 日野町2件 4,625千円、江府町1件 3,700千円	12,059千円
合 計		18,308千円

エ まちなか暮らし総合支援事業費補助金 0千円

各市のまちなかにおいて、まちなか過疎対策や高齢者等の地域住民が安心して暮らせるための地域コミュニティの活性化等の取組に対し助成する。

区分	補助対象経費	補助金額
スタートアップ	計画策定、講師招聘、事例調査、実証実験などの取組を支援 (10/10) ※対象：高齢化率が概ね30%以上の地域又は自治会 【事業実績なし】	0千円
まちなか居住促進	空き家等を活用し、新たな担い手として期待される若い世代のまちなか定住を促進（空き家の改修等）(1/2) 【事業実績なし】	0千円
まちなかコミュニティ活性化	コミュニティビジネスの起業や、地域で策定された計画等に基づくコミュニティ活性化の取組を支援(ソフト1/2、ハード1/3) 【事業実績なし】	0千円
買い物弱者対策	店舗が不足する地域で、空き店舗を活用した小売りや移動販売等、食料・日用品を供給する取組を支援 (ア) 仕組みづくりの支援（計画策定）(1/2) (イ) 店舗の購入・改装費、移動販売車の購入費等の支援1/2(更新の場合1/3) (ウ) 移動販売車運営費助成（1/2） 【事業実績なし】	0千円
まちなか遊休施設活用	地域における遊休施設(空き店舗等)を活用した、地域住民のまちなかコミュニティの活性化に取組を支援(1/2) 【事業実績なし】	0千円
合 計		0千円

(3) 地域活性化活動支援事業 684千円

鳥取県と連携協定を締結した県外大学が行う調査研究で、県が設定するテーマに沿って、県内の地域づくりや地域活性化に資するものに対し助成する。

助成内容	補助金額
県が設定するテーマに沿った内容のもので、地域と連携し、地域づくりや地域活性化を目指す活動に要する経費を支援。 【事業実績（3件）】 青山学院大学3件 684千円	684千円

3 事業成果（改善状況）・課題等

(1) 事業成果

- ・小さな拠点の形成に係る取組を支援し、県内では令和4年度に新たに7拠点が形成され、計46拠点が形成された。(目標：令和6年度末までに45拠点を形成)
- ・地域資源の有効活用を通じ地域の活性化を図るとともに、地域の支え合いによる安心して暮らせるための地域づくりを進めた。
- ・移動販売車が新たに導入（南部町1台、日野町1台）されるなど、買い物弱者対策が進んでいる。

(2) 課題

- ・中山間地域の生活の安全・安心の確保を図るため、関係市町等と連携を図り、持続可能な「小さな拠点」づくりや買い物支援を更に進めていくことが必要である。
- ・高齢化、人口減少の進む中山間地域において、安心して暮らせる地域づくりを進めるため、引き続き市町と連携しながら新たな取組の掘り起しや取組の拡大などを図っていく必要がある。

(単位：千円)

事業名	決算額	財源内訳			
		国庫支出金	起債	その他	一般財源
空き家対策推進事業	54,863	7,911		730	46,222
将来ビジョン	2つなげる 力をつなげ、結集して、持続可能で魅力あふれる地域を創る (3) 住民が安全・安心に暮らし続けられる中山間地域が形成 (4) 魅力があふれ人が集い、にぎわいのある中心市街地が形成				
令和新時代創生戦略	大項目 II人々の絆が結ばれた鳥取のまちに住む 中項目 (3) 支え愛 小項目 絆を活かした中山間地域・まちなか振興 大項目 III幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ 中項目 (1) 移住・定住 小項目 「移り住みたい」・「住み続けたい」・「帰りたい」 鳥取県 大項目 III幸せを感じながら鳥取の時を楽しむ 中項目 (3) まちづくり 小項目 暮らしやすく元気になるまちづくり				
政策項目	Vふるさと新時代②空き家利活用モデル事業や米子港エリア整備など街なか・駅前活性化				
1 事業の目的、概要 年々深刻化する空き家問題を改善するため、市町村を通じた所有者等への支援や、まちづくり団体等の育成、空き家(中古住宅)の不安解消や魅力促進に資する取組、県民に対する意識啓発や機運醸成等、「空き家の除却」「利活用促進」「発生抑制・老朽化抑制」の切り口から空き家対策に資する取組を進める。					
2 事業の内容、実施の状況					
(1) 空き家除却等支援事業補助金					
	区分	補助対象経費	補助金額		
	老朽危険空き家等除却支援事業	法令に基づく指導等を受けた老朽危険空き家等を除却するための経費を支援(補助率1/5) 【事業実績(106件)】 鳥取市10件 1,430千円、米子市8件 2,014.75千円、 倉吉市46件 15,515千円、境港市1件 70千円、 若桜町1件 123.75千円、智頭町2件 225千円、 八頭町10件 2,738千円、三朝町11件 1,606千円、 湯梨浜町6件 2,888千円、琴浦町7件 3,193千円、 北栄町2件 1,347千円、大山町1件 112千円 江府町1件 125千円	31,387.5千円		
	まちづくりの計画に資する除却支援事業	まちづくりの計画を推進する目的で実施する空き家等を除却するための経費を支援(補助率2/5) 【事業実績(35件)】 境港市35件 5,250千円	5,250千円		
(2) 空き家利活用団体支援事業					
	助成内容	補助金額			
	宅地建物取引業協会、建築士会、司法書士会、土地家屋調査士会で構成する「とっとり空き家利活用推進協議会」に対し活動経費の一部を支援(補助率2/3) 【取組実績】 ・空き家・空き土地・困りごと無料相談会の開催(東中西各2回、来場者 計147組) ・空き家利活用シンポジウム等の開催(米子市、日吉津村) ・相談員、専門家の派遣活動(鳥取市、境港市、県消費生活センター)	2,654千円			
	空き家利活用に取り組む団体等が行う、空き家の清掃、軽微な補修、老朽化の抑制等に要する経費やサブリースに係る空き家の改修経費を支援(補助率3/4) 【事業実績(3件)】 鳥取市1件 49千円、江府町2件 88千円	137千円			

(3) 空き家利活用流通促進事業

助成内容	補助金額
一般に流通しない空き家の利活用を行うための改修に係る経費を支援(補助率1/3) 【事業実績(28件)】 鳥取市2件 666千円、米子市4件 800千円、倉吉市5件 1,342千円、 境港市8件 4,758千円、若桜町1件 600千円、智頭町2件 1,600千円、 八頭町3件 1,247千円、三朝町1件 600千円、湯梨浜町1件 400千円、 日南町1件 600千円	12,613千円

(4) 空き家の魅力普及促進事業

助成内容	補助金額
改修した空き家の一斉見学会等の開催に要する経費を支援(補助率1/2) 【事業実績(1件)】 鳥取県宅地建物取引業協会(東部)1件 293千円	293千円
空き家利活用をテーマとするデザインコンペ等の開催に要する経費を支援(補助率1/2) 【事業実績(1件)】 鳥取県建築士会1件 200千円	200千円

(5) 空き家等利活用事例コンテスト開催事業

事業内容	委託金額等
空き家(中古住宅)を改修し魅力や利用価値を向上させ利活用している好事例を募集・表彰。また優秀事例の事例集等を作成しホームページで情報発信。	1,720,445千円

(6) 空き家化抑制推進事業

事業内容	委託金額等
高齢者世帯等が居住する居宅が将来空き家とならないよう、“空き家化した後の処置”について事前に合意しておくこと等を促すアウトリーチ手法等を研究するため、県内でモデル的に取り組む自治体(米子市・倉吉市・八頭町)へ助言等の伴走支援を有識者に委託して実施。【一級建築士事務所居住福祉空間研究所】	608,350千円

3 事業成果(改善状況)・課題等

- ・空き家除却等支援事業補助金について、まちづくりを促進する目的で市町村が設定する地域において行う空き家等の除却に要する経費も支援の対象とした。(老朽危険空き家以外の除却への支援)
- ・県の補助金を活用して老朽危険空き家の除却支援を実施する市町数並びに除却件数は13市町106件で、前年と比較して24件の増加となり、一層の空き家対策の推進が図られた。
- ・今後更に増加する空き家について、除却等による危険性の排除だけでなく、できる限り空き家を発生させないよう事前に予防する取組や、空き家となっても適正管理や利活用を促進することにより老朽化を抑制する取組を講じていく必要がある。
- ・空き家化抑制推進事業について、米子市・倉吉市・八頭町をモデル地区に空き家化抑制勉強会を実施し、高齢者世帯等へのアウトリーチ手法等の研究を行った。
- ・空き家利活用コンテスト2022を開催し、計17件(住宅部門7件、非住宅部門10件)の応募があり、優秀事例の12件について表彰を行った。
- ・空き家利活用に取り組む地域のまちづくり団体等が行う空き家の清掃・軽微な補修やサブリースへの取組に関する支援制度の創設を行った。
- ・県の補助金を活用して空き家利活用流通促進を実施する市町数並びに活用件数は10市町28件で、前年と比較して7件の増加となり、一層の空き家利活用の推進が図られた。
- ・空き家利活用に関する機運の醸成を図る上では地域団体や市町村の関与が不可欠であり、引き続き地域団体や市町村による取組への支援、連携の強化を行う必要がある。
- ・住宅市場においては新築指向が強く、空き家の市場流通は一般的でないことから、さらなるマッチング体制の強化、並びに空き家利活用の魅力訴求に繋がる取組を行う必要がある。

6 決算資料
一般会計（歳入）

（単位：円）

区分	科目	予 算 現 額				調 定 額 A	収入済額 B	不納欠損額 C	収入未済額 A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越財源充当額	計					
歳 入	総務費国庫補助金	13,986,000	△ 979,000	0	13,007,000	8,197,000	8,197,000	0	0	
	土木費国庫補助金	11,722,000	△ 1,778,000	0	9,944,000	7,911,000	7,911,000	0	0	
	雑 入	1,045,000	0	0	1,045,000	1,319,622	1,319,622	0	0	
	合 計	26,753,000	△ 2,757,000	0	23,996,000	17,427,622	17,427,622	0	0	

一般会計（歳出）

（単位：円）

区分	科目	予 算 現 額					支出済額 （決算額） B	支出済額の内訳		翌年度 繰越額 C	差引残額 （不用額） A-B-C	備 考
		当初予算額	補正予算額	継続費及び 繰越事業費 繰越額	予備費 支出及び 流用増減	計 A		本 庁	出納機関			
歳 出	計 画 調 査 費	0	0	0	2,550,000	2,550,000	6,000	6,000	0	0	2,544,000	
	自 治 振 興 費	100,521,000	△ 25,195,000	0	0	75,326,000	62,773,420	24,188,247	38,585,173	0	12,552,580	
	建 築 指 導 費	70,450,000	△ 5,951,000	0	0	64,499,000	54,863,295	54,863,295	0	0	9,635,705	
	合 計	170,971,000	△ 31,146,000	0	2,550,000	142,375,000	117,642,715	79,057,542	38,585,173	0	24,732,285	

7 事業別実施状況調べ

(単位：円)

事業名	予 算		現 額			支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等
	当初予算額	補正予算額	継続費 及び繰越 事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増 減	計 A					
(自治振興費)										
中山間地域に関 わる人財確保育 成事業	6,545,000	△3,303,000	0	0	3,242,000	2,783,925	0	458,075	86%	研修会の開催や、住民共助の取組への 伴走支援、地域おこし協力隊へのサ ポート、高校生等の取組支援等により、 地域の担い手等の人材育成・確保を 行った。
(主) がんばる 地域支援事業	58,421,000	△18,436,000	0	0	39,985,000	38,669,000	0	1,316,000	97%	主な事業に関する調べのとおり。
農山漁村滞在促 進事業	4,236,000	0	0	0	4,236,000	2,456,000	0	1,780,000	58%	農泊事業者1者、民泊推進協議会2者、 倉吉市3件の農泊体験メニュー創造、 滞在エリア創造や施設改修等の経費を 支援するとともに、農泊セミナーを開 催した。 不用額については、当初予定していた よりも補助金の執行件数が少なかった ため。
特定地域づくり 事業推進支援事 業	19,500,000	△1,956,000	0	0	17,544,000	11,476,000	0	6,068,000	65%	若桜町、智頭町、日野町の事業実施対 して支援した。 不用額については、コロナ影響等によ り、当初計画に対して、職員の雇用開始 時期の遅延や雇用人数の減を余儀なく されたことにより、補助執行額が少な かったため。

事業名	予 算 現 額				支出済額 (決算額) B	翌年度 繰越額 C	差引残額 (不用額) A-B-C	執行 率 B/A	事業計画と実績・成果、 繰越、不用額の理由等	
	当初予算額	補正予算額	継続費 及び繰越 事業費 繰越額	予備費支出 及び流用増 減						計 A
とっとりの美しい街なみづくり事業	6,259,000	△1,500,000	0	0	4,759,000	3,286,600	0	1,472,400	69%	とっとりの美しい街なみづくり補助金は鳥取市1件、倉吉市4件、境港市4件の住宅等修景に係る経費を支援した。滞在風景づくり支援事業補助金は鳥取市1件の実証実験、倉吉市1件の滞在風景づくりに係る経費を支援した。不用額については、当初予定していた事業者から申請が提出されなかったため。
中山間地域振興費	5,560,000	0	0	0	5,560,000	4,101,895	0	1,458,105	74%	中山間地域に係る施策の検討や国・各県・市町村等との連絡調整を行った。
目 計	100,521,000	△25,195,000	0	0	75,326,000	62,773,420	0	12,552,580	83%	
(建築指導費)										
(主) 空き家対策推進事業	70,450,000	△5,951,000	0	0	64,499,000	54,863,295	0	9,635,705	85%	主な事業に関する調べのとおり。
目 計	70,450,000	△5,951,000	0	0	64,499,000	54,863,295	0	9,635,705	85%	
(計画調査費)										
デジタル環境活用支援事業費補助金	0	0	0	2,550,000	2,550,000	6,000	0	2,544,000	0.2%	デジタル活用に係る研修会を開催した。不用額については、補助金の執行がなかったため。
目 計	0	0	0	2,550,000	2,550,000	6,000	0	2,544,000	0.2%	
合 計	170,971,000	△31,146,000	0	2,550,000	142,375,000	117,642,715	0	24,732,285	83%	

- 8 予備費の充用調べ
該当なし

- 9 現金の取扱状況
 - (1) 現金取扱状況
該当なし
 - (2) つり銭の状況
該当なし

- 10 財産に関する調べ
 - (1) 公有財産
該当なし
 - (2) 金券類の保有状況
 - ア 金券の保有状況
有 ・ 無
 - イ タクシーチケットの保有状況
該当なし
 - (3) 基金
該当なし
 - (4) 債権
該当なし

- 11 財産の貸付け及び使用許可調べ
該当なし

- 12 借受不動産明細調べ
該当なし

- 13 職員駐車場の管理状況調べ
該当なし

- 14 寄附物件の受納状況調べ
該当なし

- 15 備品の処分状況調べ
該当なし

- 16 貸付金等状況調べ
該当なし

- 意見、要望等
 - (1) 業務に関する意見・要望等
特になし
 - (2) 監査委員事務局に対する要望等
特になし